



# Arakawa Business Plan

AWARD 2023

## 受賞プラン決定！

地域課題の解決や荒川区内の地域産業の活性化につながる  
ビジネスプランを募集し、受賞プランを決定しました。

最優秀賞

子どもの個性を活かしたフリースクール  
園田 たきね (サドベリースクール アルママ)

優秀賞

親子で荒川クイズ発見！無料冊子で魅力拡散  
壺井 美香 (あらかわQ-KIDZ)

オーディエンス賞



人とまちをつなぐシェアキッチン  
高橋 順子  
株式会社つむぐ設計 (シェアキッチン 628)



若手芸術家の作品を購入できる  
芸術祭事業  
田島 悠史 (株式会社経営芸術総合研究所)



地域通貨で  
「荒川を東京で一番いい街」に。  
中江 哲夫 (荒川コミュニティコイン)



東東京を潤す  
AI提案型空広告看板仲介事業  
遠藤 翔一 / Cat.O



荒川から始める  
癌サポートのニューノーマル  
川中 碧人

# 荒川区ビジネスプランコンテスト 2023 受賞者発表



## 子どもの個性を活かしたフリースクール

園田 たきね

サドベリースクール アルママ

### 個性に合った学びの場を提供し、社会的自立を目指す

何らかの理由により、学校に合わなかった場合→不登校→さらには引きこもりになる傾向があります。親は働きに出られず→収入が減り→貧困に繋がる可能性があります。生活が苦しくなると→子どもへの暴力が増え→社会的自立を阻害することがあると考えています。

そこで私たちは、その子の個性に合った学びの場を提供すればいい、学びの選択肢を作ることが大人の役割だと考え、フリースクールを立ち上げました。サドベリースクール アルママの理念は、「子どもが本来持っている生きる力を 100%信頼する」です。子どもは、大人から指示や規制をされなくても、自分で学び、成長できると考えていて、最終的な目的は、社会的自立を目指しています。

### 子どもの可能性は無限。子供が個性を生かせる街に

そのためには、職業を知ることと、マネー教育が重要です。私たちは地域の企業や店舗の協力を得ながら職業体験を通じたマネー教育に取り組んでいます。

また、東京都の調査研究協力者の認定校になっており、都から月 20,000 円をご家庭に支給される制度が適用されます。そのため、ご家庭にも負担なく通っていただけます。

子どもの可能性は無限です。

自分に合った場所で学べば、子どもの個性は存分に開花すると確信しています。子どもが生き生きとして個性を活かせる街になるよう、少しでも貢献できればと思っています。

### ビジネスモデル 区内の地域資源



今回受賞できたのは、いつもまわりに応援して下さる方、支えて下さる方、サポートして下さる方々がいてくれたおかげです。アンケートのご協力、プレゼン資料の書き方、内容のアドバイスを求めても、いつもみなさんが本当に気持ちよく引き受けて下さり、感謝しかありません。また、このような事業に賞を与えてくださった荒川区にも感謝申し上げます。日々、優秀なスタッフ 5 名と共に、さらにより価値の提供を目指して、活動しています。子どもの可能性は無限です。その可能性や個性を存分に開花させるための、学びの選択肢を作るのが大人の役割だと考えています。サドベリースクール アルママに賛同して下さる企業様、店舗や個人の方、ぜひ一緒に活動していただけますと幸いです。ご寄付もお待ちしております。

「子どもの個性が輝く街、荒川区」を目指していきます!!



# 親子で荒川クイズ発見! 無料冊子で魅力拡散

壺井 美香  
あらかわQ-KIDZ



## 「子どもたちのユニークな視点で作ったクイズ」で荒川の町をアピール

フリーマガジン「あらかわQQQ(きゅきゅきゅ)」は、クイズハンターとなった子どもたちが荒川区のお店や施設でクイズを作り、まとめた冊子です。今回、優秀賞をいただいた私の事業は、これを区内外のあちこちで配布し、荒川区の魅力を拡散するというビジネスプランです。今回、実際に試作版として、子どもたち4人が取材を行ったところ、提灯屋さんに「好きな寿司ネタベスト3」を聞いてみたり、子どもたちはとにかく自由に大人では思いつかないような視点でクイズを作ってくれました。「基本的な店舗情報よりも、子どもが見つけたクイズだけを載せる」という、一見、メチャクチャなコンセプトがこの冊子の最大の売りです。ですから、ぶっ飛んだクイズも大歓迎。笑っちゃう様な楽しいクイズをたくさん掲載していきます。

FREE MAGAZINE **あらかわQQQ**



単なる地域情報誌じゃない!  
学びも笑いもいっぱいフリーマガジン!

【QQQクイズ】  
Q: 運営費は企業や商店の広告収入がメインとなりますが「あらかわQQQ」では単にロゴや店舗情報だけでなく広告を「○○○形式」で掲載します。広告欄でも読み飛ばされず1冊丸ごと楽しめる工夫とは、一体なんでしょう?  
答え: 広告も全てクイズにして掲載(一冊丸ごとクイズ。それがQQQクオリティ!!!)



@arakawaqkidz



この度は優秀賞とオーディエンス賞をダブル受賞させていただきありがとうございます。この数ヶ月、事業計画書を作成したり、冊子の試作版を作ったりと慣れない作業も多く、大変なこともありましたが、それらが吹き飛ばすほどに感激しました。そして現在、本格的に事業として展開していこうと意気込んでいるわけですがこの事業はとにかく継続することが難しいため、いきなりトップスピードではなく少しずつ歩を進めていこうと考えています。そこでまずは情報収集と、荒川区のキーマンたちにお会いして情報を得たり、戦略を学んだりと〜っても刺激を受ける日々を過ごしています。また、クラウドファンディングにも挑戦したいと思っております。そして5年以内には「荒川区には面白い冊子がある」と広く認知されたいと思います。



## 人とまちをつなぐシェアキッチン

高橋 順子

株式会社つむぐ設計(シェアキッチン 628)



### シェアキッチン628

西日暮里6丁目28番から  
人とまちをつなぐ場所



たかはし あやこ

#### 飲食店経営を目指す人の、夢の実現や地域社会との関わりを応援

西日暮里の冠新道に OPEN した『シェアキッチン628』は飲食店経営等を目指す人たちの応援の場です。売りたい物はあるけれどお金や機会がない、そんな方たちに、キッチンや店舗の設備、調理器具、その他必要な設備や許可が整った場所を提供し、複数の出店者が場所を共有することで導入コストを抑えた小さな一歩からスタートすることができる場所です。

そしてただ単に場所をシェアすることによる費用面の効果だけではなく、健康寿命が延びたことやライフステージが変化していくこと、働き方や企業との関係の変化、そのような世の中の変化のなかで、多様な働き方を可能とする場所です。出店者は夢の実現や地域社会とのかかわりを持続でき、地域の方にとっては毎日違うお店が営業する楽しい場所となります。さらにここを卒業した店舗が区内に展開してゆくことで荒川のまちのにぎわいの創成にもつなげてゆく事業プランです。



私たちのシェアキッチン628は小さいけれども地域経済の活性化やコミュニティの発展を持続させていく場所にしようと思いつけました。地域に根ざした金融機関である城北信用金庫さんから賞をいただいたという事は、私たちの事業コンセプトが期待されているのだと自信を持つことができ大変うれしく思います。また私たちの夢に共感してくださる方々へも感謝の気持ちでいっぱいです。これからもまちの未来を地域と共に築くため積極的に挑戦し続けていきます。応援よろしく願っています。



## 若手芸術家の作品を購入できる芸術祭事業

田島 悠史

株式会社経営芸術総合研究所



#### 地域で活躍する若手アーティストの「作品を購入できる芸術祭」

日本各地の隠れた若手芸術家の作品を仕入れて、荒川区内で「作品を購入できる芸術祭」の開催というプランを提案しました。このプランはレンタルスペースや空家をギャラリーとして用い、伝統的な文脈の作家ではなく、地域で活躍するアーティストの作品を展示し、コレクターや芸術愛好家に対し販売を行うというものです。顧客ターゲットは、若手会社員や大学生等の都内在住の若年層が中心で、価格は若年層でも手を出さることのできる平均3~5万円程度を想定しています。

荒川区は近くに東京芸術大やギャラリーといった文化拠点が存在し、またギャラリーとして利用候補になりうる空き家が多く存在しています。これらをマッチさせることでアートビジネスを創出し、また荒川区に対し文化創出や本事業を通じた若年層の定住促進といった貢献を狙います。



この度は東京商工会議所荒川支部会長賞を受賞させていただき、大変ありがとうございました。まだ2期目の法人である弊社に栄誉ある賞を頂き、大変身に余る思いです。荒川区には隠された文化資産が多くあると感じていますので、この受賞を機にビジネス及び文化創出により一層邁進したいと思います。



## 地域通貨で「荒川を東京で一番いい街」に。

中江 哲夫 / 荒川コミュニティコイン



### 住民と地域、住民同士を結びつける、地域通貨が作るネットワーク

下町・荒川に今必要なものは、住民と地域の結びつきを強めること、地域文化の担い手である中小事業者、商店、職人、市民活動を住民の力で育てる「共助」の意識と行動です。地域通貨は、地域を意識した消費行動を呼び起こし、住民と住民を結びつける緩やかなネットワークとなります。本事業は、さらに流通総金額の1%を荒川の社会福祉事業に還元することで、具体的な荒川の街おこしを支援するものです。地域通貨の発行が、住民と地域、住民同士の結びつきを深め、荒川を発展させる原動力となると確信をしております。



奨励賞をいただき大変ありがとうございます。今まで応援していただいた全ての皆様に深く御礼を申し上げます。この賞を励みにプランの実現のために一層努力してゆく所存です。今後ご支援ご鞭撻をぜひよろしくお願いいたします。



## 東東京を潤すAI 提案型空広告看板仲介事業

遠藤 翔一 / Cat.O



### 屋外の空き看板と、イベントや情報の掲出希望者をマッチング

人々が集まる町のしくみをアプリ開発を通じて実現します。【誰もが気軽に「交流」「企画」「お手伝いのお願ひ」のできる地域のデジタルプラットフォーム】を作ります。そのために【事業者さんや区民の方々が、毎日アプリを開きたくなる魅力的な機能】の1つとして、今回は「空白の屋外看板に、中小企業や商業者が気軽に掲出できるマッチングサービス」を発表いたしました。「近日開催予定のイベント概要がわかる」「フリーワード検索で知りたい地域の情報がある程度わかる」機能なども加え、2024年春を目途にアプリリリース予定です。

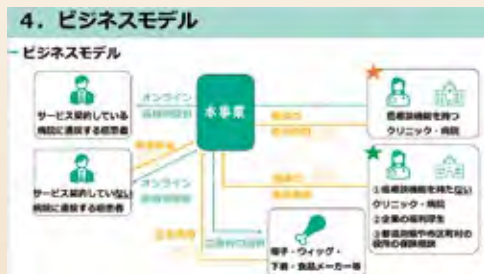


地元富士山を離れ東京の暮らしに慣れ始めた私は、郷愁感を醸す荒川区の地域との繋がりがゆるく、あたたかく、支えあう下町文化に魅せられました。この心と心の関わり合いの中に事業が絡む、職住一体化されたくらし文化の仲間に入れてもらい次世代に繋ぎたくなったのです。実際に地域の方々に共感いただきながら「あでもない (or ある) こうでもない (or ある)」とヒアリングベースでゼロから創らせて頂いています。ああ、なんと素敵なことか。またこのような賞を頂けたおかげで、協働先も増えました。ご縁に恵まれ、感謝至極です。



## 荒川から始める癌サポートのニューノーマル

川中 碧人



### 癌の不安を解決する、オンライン相談サービス

癌患者やその家族等身近な人が、癌に関する不安や疑問、悩みを抱えた時に気軽に相談ができるオンラインカウンセリングサービス。気持ちの整理がつかず、悩みが纏まっていない人には、会話の中で問題を整理し不安を解消します。また、癌に関する全ての疑問や悩みに対して、医療者や癌経験者の知見も踏まえた回答を提供することで悩みの解決を図ります。癌に罹患しても必要以上に不安にならず、安心して治療を受け、生活ができるサポートを行います。



奨励賞を受賞することができ大変嬉しく思います。今回のコンテストでは、サポートいただける荒川区様を始め、区内で活動をしている多くの方々と出会うことが出来ました。また、同じように起業を目指す仲間と出会ったことも参加をしたとても大きなメリットでした。このオンライン癌相談のプランは、多くの方々のご支援のおかげで実現しました。この場を借りて、心から感謝申し上げます。今後も、より良いサービスを提供していけるよう全力で取り組んでいく所存ですので応援よろしくお願いいたします。

## 総評

### 特別審査委員長

株式会社三菱総合研究所理事長

元東京大学総長

小宮山 宏氏

受賞されたみなさま、おめでとうございます。

日本は地球温暖化やエネルギー資源の確保、少子化、超高齢社会、地方の過疎など、世界の課題を先進的に抱える「課題先進国」です。しかし、課題があるということはそこにニーズがあるということでもあり、チャンスとして捉えることもできます。したがって我々は世界に先駆ける課題を自ら解決する「課題解決先進国」のフロントランナーとなり、新たな需要、新たな経済活動を創造していく必要があります。それが新しいモデルとなり、やがて同じ課題に遭遇する世界に浸透していくことで、地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする社会である「プラチナ社会」を形成することができると確信しています。確かなことは、プラチナ社会を実現するために私たち自身が主体的に活動する必要があるということです。共にサステナブルで希望ある未来を切り開きましょう。

受賞されたみなさまにおかれましては、情熱と信念を持ってビジネスプランの実現化とその先にある事業の発展により、多様な地域課題の解決及び地域経済の活性化を牽引していくことと存じます。今後もさらなるご活躍をされますことを期待しております。

## 講評

### 審査委員長

元中央学院大学大学院特任教授

松本 芳男氏

荒川区ビジネスプランコンテストは、区内の豊かな地域資源や産業集積を活かし、地域に根差す新産業の創出を支援し、区内産業の活性化を図ることを目指しており今回が6回目になります。区が基本構想として掲げている「子育て」「健康支援」「安全安心」「地域の賑わい創出」などに寄与する事業プランの提案を期待しています。私も初回から審査を担当してきておりますが、毎回、魅力的なプレゼンテーションを拝聴できるのを楽しみにしております。本コンテストの趣旨を考えれば、単なる机上プランで終わらせず、実際の事業展開に繋げていく必要があります。そこで数年後、自らが構想した事業プランの実践状況を報告してもらおう機会を設けることも検討に値すると思います。

## 区長からごあいさつ ～あらかわ発 未来志向のイノベーション～



本コンテストは、新たなビジネスの創出と区内産業の活性化を目的として平成25年度に創設し、今回で6回目を迎えました。今年度は、区内外から42件もの御応募を頂き、厳正な審査を経て、その中でも特に区の活性化に資するビジネスプランを提案された7名に賞をお贈りしました。地域課題の解決と地域産業活性化のアイデアをたくさんお寄せいただいたことに感謝するとともに、情熱溢れるビジネスプランの数々に触れ、私も大変刺激を受けました。

新しいビジネスが生まれる街には活力とにぎわいが生まれ、雇用や新しい文化が創出されるなど、地域産業のさらなる活性化にもつながります。

区といたしましては、この素晴らしいビジネスプランを、活力あふれる荒川区で実現するとともに事業を継続することができるよう、引き続き支援体制を整えて、皆様をサポートしてまいります。皆様のさらなる御活躍を心から祈念いたします。

荒川区長 西川 太一郎

## 荒川区ビジネスプランコンテスト 2023 概要

### 目的

荒川区では、区内の豊かな地域資源や歴史ある産業集積を生かしつつ、地域に根差す新産業の創出を支援し、区内産業の活性化を図ることを目指しています。そこで区内外から区の地域資源を活性化するビジネスプランを募ります。将来有望なプランを発掘するとともに、これから区内での起業や事業展開を目指す方の成長を応援するため「荒川区ビジネスプランコンテスト2023」を開催します。

### 応募者資格

以下の項目のいずれかに該当する個人、中小企業者、特定非営利活動法人、団体等(団体の場合、その構成員の全てが以下の項目のいずれかに該当すること。)

- ①創業予定者又は創業後概ね5年以内である
- ②新分野進出や新事業展開(以下「新分野進出等」)を予定している、又は新分野進出等の後概ね5年以内である

### 対象事業

- ①将来的に区内での創業・新分野進出や新事業展開を想定するものを歓迎する。
  - ②業種や事業分野は問わないが、区の地域資源(モノづくり産業、伝統工芸等)の活用や地域課題の解決が期待でき、広く波及効果の見込めるものであること。
- ※なお、区の基本構想で掲げる「子育て」や「健康」の支援、「安

全安心」や「地域のにぎわい」の創出等に寄与するプランを歓迎する。

- ③社会貢献性、革新性、事業性があり、継続的な事業運営が期待できるものであること。
- ④公序良俗に反せず、社会通念上、適切と認められるものであること。
- ⑤他のビジネスプランコンテスト等において最優秀賞を未受賞であること。(最優秀賞以外は応募可)

### 事業経過

□応募期間:令和5年6月16日から8月14日

□応募件数:42件

□審査委員会

●特別審査委員長

小宮山 宏氏

(株式会社三菱総合研究所理事長、元東京大学総長)

●審査委員長

松本 芳男氏(元中央学院大学大学院特任教授)

●審査委員

幸物 正晃氏

(経済産業省関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長)

永井 員代氏

(独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 副本部長)

渡辺 紀子氏(東京商工会議所 荒川支部 事務局長)

寺田 直樹氏(城北信用金庫 常務理事)  
小山田 晃裕氏(荒川区しんきん協議会)  
伊藤 淳子氏  
(A-Girl LLC/一般社団法人鎌倉わくわくサロン/  
女性起業家ネットワーク・リーダーズ 代表)  
石原 久氏(荒川区 産業経済部長)

### ■選考方法

一次審査:書類選考

最終審査:プレゼンテーション選考

■審査基準

社会貢献性・革新性・事業性・継続性

■ファイナルイベント:令和5年(2023年)11月27日

アートホテル日暮里 ラングウッド(5階 ルーチェ)

ビジネスプラン発表、表彰式、交流会開催

### 各賞の紹介

- ・最優秀賞(賞金30万円) 1件
- ・優秀賞(賞金20万円) 1件
- ・城北信用金庫賞(賞金15万円) 1件
- ・東京商工会議所荒川支部会長賞(賞金15万円) 1件
- ・奨励賞(賞金5万円) 3件
- ・オーディエンス賞 1件

■主催:荒川区 ■協賛:城北信用金庫、東京商工会議所荒川支部

■後援:経済産業省関東経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、公益財団法人東京都中小企業振興公社、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社日本政策金融公庫上野支店・千住支店、国立大学法人山形大学工学部、東京都立大学法人、東京電機大学研究推進社会連携センター、学校法人東洋大学、巢鴨信用金庫、朝日信用金庫、瀧野川信用金庫、東京東信用金庫、荒川区工業団体連合会、一般社団法人荒川区中小企業経営協会

問合せ先:荒川区産業経済部経営支援課産業活性化係 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 TEL:03(3802)3111(内線458) FAX:03(3803)2333 www.city.arakawa.tokyo.jp

令和6年2月発行 登録(05)0097号